

# ええどこ発見図

岡山市東山中学校区  
(旭東・平井学区)

## 旭東学区は…

交通の便がよく、病院やスーパーなど暮らしやすい環境があります。学区内に保育園3ヶ所、幼稚園、小学校、中学校があり、高校は2校、専門学校1校があって、子育て環境が整っています。児童センターは子どもたちの大切な居場所です。

子ども、高齢者、障がいのある方など、どの世代も「元気で暮らせる」地域を目指しています。歩いて行ける所に「いきいきサロン」が14ヶ所(H27年10月1日)あるのが自慢です。人口は5,541人、世帯数は3,021世帯、高齢比率(65歳以上)は35.62%、乳児数は58人(マンションなどの増加で増加中)です。(H27年9月末)



## 作成者一同の思い

「ええどこ発見図」とは、自分たちの住んでいる地域のええどこ(いいところ)を盛り込んだウォーキングマップです。地域を何度も歩き、話し合いを重ねる中で、普段見過ごしていた大切な地域資源を再確認しました。いろいろな人と知り合い、お互いを認め合うことで、地域に住む人の「ええどこ(いいところ)」も再発見しました。この「ええどこ発見図」が、健康づくりに活用され、地域への愛着や人と人との絆をますます深めるきっかけになることを願っています。

平成28年3月  
健康市民おかやま21(第2次)



## 平井学区



## 平井学区は…

旭川の東部に位置し、面積は約3平方kmあります。春は水源地の桜や旭川のしじみ採り、初夏には排水センターのあじさい、秋は旭川でのハゼ釣りなど四季折々で見どころのある学区です。以前は操山のふもとに民家があるだけでしたが県道45号線(岡山-玉野線)ができるからは幹線道路を中心に栄え、住宅や人口が増加してきました。

人口 13,143人 世帯数 5,879世帯 (H27年9月末)



平井学区の風景  
(中央の橋は旭川大橋)



ケレップ水制

旭川河口に近い桜橋以南の左岸に、干潮になると川の中央に向かってT字型の石積みが現れてきます。数えてみると、桜橋から旭川大橋の南まで8kmの間に計19基あります。

ケレップとはオランダ語で水制を意味します。旭川は明治時代以後、定期的に蒸気船が運航していたため、川が土砂で埋まらないよう、水深を保つ役割を担っていました。旭川河口のケレップ水制のような規模のものは、全国的に珍しく、立派なものです。